

教師が授業を楽しむ、その先に

次長 中村 邦夫

関係各位におかれましては、県教育委員会の各事業へのご理解とご協力を賜っておりますことにより感謝申し上げます。また、様々なお声掛けにより、各方面でサポートさせていただく機会を得ておりますこともまた、とても有難いことだと感じているところです。今年度の日数も残り少なくなってきましたが、今後も緊密なつながりのもと、教育活動や学校運営の充実に向けたお手伝いを進めていきたいと考えております。

さて、前期と後期の所長訪問で、管内すべての学校の様子を拝見し、ご説明いただきました。その中で、全体として良い傾向だと感じていることは、経験年数の少ない教職員の資質向上に向けた取組の充実です。特に、日常的な声掛けや協働的な実践を大切にしている点です。教員の指導力の向上を考えると、「技術の継承」という方法は、重要な役割を担っていると思っています。先輩教員とともに実践し、ともに実践後の振り返りをする、という行為が日常的に行われることで「技術の伝承」の確実性が高まっているように感じています。ガッチリと時間を確保して全教職員で行う「計画的な研修」と併せて、これからも大切にしたい取組であると考えています。

もう一つ、良い傾向だと感じていることは、学校の働き方改革の推進です。教育活動の質の向上という考え方を起点とし、様々な取組が行われております。教育課程上の大きな変更を決断したうえでの大改革もあれば、日常の中でちょっとした手順の省略であったり様式の簡略化であったり積み重ねで改革を進めている例もあります。教育活動の質を落とさずに業務を削減するという、一見相反するよう感じる内容に、全ての学校が果敢に挑んでいる姿勢に感心しております。そんな中ではありますが、教頭先生の業務の内容や量がなかなか見直されていないという声も上がっていることから、当教育事務所では、今年度、「教頭の働き方改革推進協議会」を立ち上げ、共通実践事項を定めて取組を進めているところです。このことは、校長先生はじめ、職員

のみなさんのご理解がなければ進められない取組ですので、今後も意を汲んでいただければ幸いです。

訪問で拝見した数々の授業の中で、心に留まった授業がいくつもありました。それらに共通して言えることは、「教師が授業を楽しんでいる」と「楽しんでいる教師に子どもたちが吸い寄せられている」というものでした。そのような授業では、私自身もその先生に吸い込まれ、その先の展開が気になって気になって、ワクワクが止まりませんでした。

私は、自身の過去を振り返って、自分にはそんな授業ができたかどうか思い返してみましたが、思い当たるふしはなかなか見つからず、むしろ逆に、静かに授業は受けているが、表情の硬い子どもたちの姿であったり、ただこちらの指示通りに課題をこなす子どもたちの姿ばかりが思い浮かんだりでした。私はまだまだ修行が足りないのだと痛感しました。

「教師が授業を楽しむ」ということは、かなり高度で、教師に心の余裕がなければできないことです。でも、「教師の心の余裕」は、考え方一つで生まれるのではないかと感じています。一つの手として、教師があれもこれも決めてしまって、その決めたことに子どもたちをあてはめるのを止める、ことです。負荷を強めるとひずみが生じ、子どもも教師もまいてしまいます。いっそのこと、構えるのを止め、どうしたいのか、どうなりたいのかを子どもにきいてみましょう。大人や教師が考えるよりもっとよい答えやヒントを、素直な気持ちで話してくれたりします。子どもとの関係も、より柔らかいものになっていくかもしれません。

「困ったら、子どもにきけ」を実践すると、子どもの自己肯定感と自己有用感の高まりにもつながり、子どもも教師も、日常生活での笑顔率が高まるのではないのでしょうか。

これが正解かどうかは何とも言えませんが、子どもたちが足を運びたくなるような学校は、どうすれば実現できるのだろうかということを考えているときに、自分の苦い経験から形作ってみた自分への「箴言」です。

冬季学校体育実技（スキー）講習会

令和8年1月9日（金） むつ市釜臥山スキー場

○目的 小学校・中学校・高等学校及び特別支援学校の教員を対象にスキーの指導法及び実技の研修を行い、指導力の向上と児童生徒への冬季スポーツの普及・振興を図る。

○内容 ・講義「スキーの安全と技術指導の基礎」

講師：

・実技「スキーの身支度と平地での指導」

講師：



☆講義では…☆

こどもは頭部が柔らかいこと、汗をかきやすく体温が下がりやすいこと、視野が狭いことなど、スキー学習において知っておきたい児童の身体的特徴への配慮や声掛けのタイミングを教えてくださいました。また、用具やウエア等を家庭と連携してしっかり準備することがやる気を高める要因になることなど、児童の様子が思い浮かんでくるような講義に参加者は聞き入っていました。

☆実技では…☆

当日は積雪が少なく、リフトの利用ができませんでしたが、講師の先生の豊富な経験からバラエティに富んだ平地での練習方法を教えてくださいました。片方の板に体重をしっかりと掛けること、体重移動をスムーズに行えるようにすること、プルークで止まる感覚をつかむことなど、平地でスキーをしっかりと扱えることが斜面での滑走に生きてくることを学ぶことができました。

☆受講者の声☆

- ・児童がスキーに対してネガティブにならないような練習方法や対策、言葉掛けなどが大変参考になりました。冬休み明けからスキー学習が始まるので、早速実践したいです。
- ・平地でも遊びを取り入れながら効果的に上達できる練習方法などを学び、楽しく参加することができました。
- ・グラウンドで練習できる内容がたくさんあって良かったです。
- ・児童にスキーの楽しさを伝えるために、まず教師がスキーを楽しんでいきたいです。



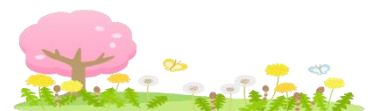
オンライン質問箱～教えてSKJ～

S（すぐに） K（きける） J（事務所）

今年度も「オンライン質問箱～おしえてSKJ～」を実施しました。活用いただいた皆様、ありがとうございました。「先生方と指導主事等をつなぎ、授業づくりや学校経営、各分掌の業務等を行う上での質問や悩みについて相談等を行い、解決を図る」という趣旨をご理解の上、積極的に活用していただき、嬉しく思います。来年度も先生方の悩みや困り感を解決するツールの一つになるよう、申込方法を簡略化し、継続して実施したいと考えています。よろしくお祈りします。

【過去の相談例】

- ・教材研究について
- ・学習指導案の作り方について
- ・県外研修の情報について
- ・関連事業の資料の提供について





お知らせ

今年度行われた独立行政法人教職員支援機構及び県教育委員会主催の研修会等への参加状況をお知らせいたします。

随時訪問の状況について

	国語	社会	算・数	理科	外国語	保健体育	道徳	特活	複式	他	計
小学校	7	5	9	1			8	2	6	17	75
中学校	2	3	3	2	4	3		3			

※「他」の内容：生徒指導13 特別支援1 指導と評価の一体化2 ICT1

【依頼内容】

- ・校内研修に係る講話
- ・生徒指導に関わる会議
- ・小中教研での情報提供と助言
- ・複式研修会における授業づくり
- ・支援を要する児童生徒についての相談
- ・授業への指導・助言や授業力向上に関する講義・演習
- ・特別活動についての指導・助言
- ・要請訪問、随時訪問、研究会に向けた学習指導案検討 など

今年度も多様な依頼をいただき、多くの学校に訪問させていただきました。ありがとうございました。